



各都道府県が
取り組む
教育改革

岡山県

高校生の多様化は、生徒が高校に求めるものにまで及び、生徒のさまざまなニーズにこたえ、学校の魅力を高めるため、特色ある教育課程の編成・実施を中心とした高校の個性化、特色作りが求められている。特に普通科高校では、進学実績以外に生徒を引きつける魅力をどう打ち出すかが問われている。総合選択型の普通科設置などにいち早く着手し、平成11年度にはさらに大きく普通科を改革しようとする岡山県の取り組みの内容を、教育庁指導課に伺った。

学区改革と 高校の個性化

岡山県では平成11年度から、県立高校普通科の学区制が大きく変わる。これまで岡山県では、学区を持つ普通科と全県学区の普通科とを併存させてきた。学区を持つ普通科は基本的には1学区1校の小学区制で、1学区に2校以上ある場合は総合選抜を行ってきた。

この改革のねらいを、岡山県教育庁指導課の新井和夫先生は次のように説明する。

「これまでの学区制は高校教育の普及・拡大、機会均等を図るうえでは、一定の役割を果たしてきました。しかし、近年の生徒の興味・関心の多様化という状況を受けて、高校教育にも自由化・個性化が求められるようになってきたのです。」

学区を持つ普通科では、いずれの高校でも同じような教育を生徒に提供す

ることが求められ、個々の生徒のニーズや地域の期待に柔軟にこたえることが難しい一面もあった、と新井先生は語る。

「生徒の個性をいっそう伸ばし、自ら学ぶ意欲を喚起する環境を整えるために、岡山県では11年度から学区規模を拡大して1学区に複数の普通科高校を置き、生徒が自ら高校を選択できるように学区制を改革したのです。そして同時に、生徒がそれぞれの進路目標などに合わせて主体的に高校選択がで

多様な生徒の 期待にこたえる 特色作り

きるように、高校の個性化、特色作りをよりいっそう推し進めることになりました。」

従来21あった小学区は、11年度から6学区に統合され、全県学区の高校と合わせると生徒の選択肢は大きく広がったことになる。複数の高校の中から自分に合った高校を選べるようになったことで、これまで以上に生徒にとって魅力的な学校作りが求められるようになったのだ。

多様な科目で 教育課程を充実

岡山県では、8年度から2年間に渡って『学区を持つ普通科高校の特色づくり推進事業』に取り組んできました。教科活動、学校行事、さらに部活動など学校生活全般に渡って特色や魅力作りを進めてきたのです。

では、それぞれの高校の特色にはどのようなものがあるのか。例えば、生徒の多様化に対応できるように、教育課

程を幅広いメニューにするというのもその一つである。国際情報科、国際科といった普通科の一部を改編した新学科を作ったり、普通科の中に新たにコースを設置したり、2年次以降に生徒が特定分野に重点を置いた学習ができるようにいくつかの類型を充実させた高校がある。さらに一部の高校では単位制に移行し、生徒が自らの履修希望に応じて自分で時間割りを作り、学年の枠を越えて学習に取り組めるようにした。

また、「その他の科目」の開設は、特色ある教育課程の編成に大きく貢献するものだ。岡山県ではこれまでに「岡山の文学」「岡山の歴史と文化」「岡山の自然」「環境科学」などの「その他の科目」を岡山県独自のものとして開設している。

『その他の科目』の開設にあたっては、各高校からの要請を受けて、ほかの高校でも運用できる科目になるように、高校側と話し合いながら練り上げていきました。たとえ担当の教師が異動してしまっても継続できるようにある程度普遍性を持った科目にしています。また、岡山県の特徴を生かした科目の内容としており、実際に運用の際には、各高校が独自の地域性や生徒の特性を見ながら、ふさわしい教材を利用して授業を行い、特色のある授業作りをしていくこととなります。さらに、『その他の科目』には『国語基礎』

や『英語基礎』といった、中学校と高校の学習内容をつなぐパイプ役を果たすような科目も設置しています。」

中・高教師の 連携を

普通科高校の特色作りのために、多様な取り組みを行っている岡山県だが、従来のものにとらわれない試みとして、技能審査の成果の単位認定が挙げられる。実用英語技能検定など、学校長が認めた技能審査に合格した場合、関連する科目の単位として認定するのだ。平成9年度では、28校38学科で延べ2533名の生徒が単位認定を受けたという。

そもそも岡山県は、普通科の改革に早くから取り組んできた。普通科だけでなく体育科などいくつかの学科を持つ学科総合型の高校を設置したり、普通科の枠の中に芸術系や国際系など多

様な選択ができる類型を持った、現在の総合学科の先駆けといえる総合選択型の高校も昭和59年度から設置している。多様な教育課程の下、生き生きと学習や特別活動などに取り組む生徒たちの姿が、今回の新たな改革の基礎となっているのだらう。

「新しい学力観で、生徒の立場に立った教育を進めていこうと、教師の意識も確かに変わってきていることを感じます。」

一方で、このように個性化、特色化を図る高校の姿を、中学生にいかにして伝えていくかが重要な課題となってくる。

「パンフレットなどの作成・配付はもちろんですが、岡山県では『オープンスクール・デー』といって、それぞれの高校が中学生に学校を紹介する機会を設けています。中学生も複数の高校を訪問しているようですよ。また、中学校の先生方にも、どの高校がどんな特色を持っているのかを見てもらいたいので、高校を訪問する機会を作ったり、生徒指導の中・高合同の連絡協議会を実施したりしています。さらに、教科指導や部活動についての教師間の交流も進めています。これらは中学校と高校の指導を連携させるものとして期待しています。」

科・科目の選択幅を広げるだけでなく、その中身を深めていくことも大切です。座学だけでなく、体験的な学習、社会に密着した学習も重要になってきています。そこで、近年は社会人講師の招へいにも力を入れています。9年度は66校で計692の社会人講師による講座を開きました。」



岡山県教育庁指導課課長補佐
新井和夫 Arai Kazuo
地歴科担当、精研高校、備前東高校、岡山探山高校と17年に渡って教壇に立つ。平成7年度から教育庁に赴任。生徒指導、教育課程などに関連する業務を行う。「岡山県の県民性は温暖な気候の影響であってほしい」といわれます。そんな中で生徒もすくすく育っています。」

岡山県立岡山城東高校は、進路目標や適性・興味・関心に添って、生徒が比較的自由に学びたい科目を選択できる総合選択型の教育課程を設けている。特色ある高校作りの現状を、学校長の
大田原啓介先生に伺った。

四つの類系で 特色ある教育

岡山城東高校では、2年生から人文系、理数系、国際系、音楽系にカリキュラムが分かれ、それぞれの系で生徒1人ひとりの興味・関心、進路希望に基づいた教科指導、進路指導を行う。

また、課外活動、生徒会活動などの特別活動にも力を入れており、2泊3日の集団宿泊研修、音楽系の生徒と音楽関連の部による合同の定期演奏会、希望者を対象とした海外短期研修など、生徒には多様な体験の場が用意されているのが特徴だ。「自分たちで判断して積極的に参加し、問題を解決する力を育てたい」と大田原校長はそのねらい



各都道府県が
取り組む
教育改革
岡山県
事例紹介

岡山県立岡山城東高校

個性に応じた

4類型制と 体験重視の授業

を語る。

「国際系では、我が国の文化も学び、外国の人と実際に交流する場を多く設けています。イギリス、アメリカ、オーストラリアで多くの生徒がホームステイを経験しますが、それだけではありません。例えば、2年生の『英語理解』という科目は、異文化について自分たちで調べ、発表する授業です。ま

た、ワークショップ形式で異文化を体験できるような、生徒参加型の授業も積極的にを行っています」

国際系への理解を深めてもらうため、総社南高校と共催で中学生対象のスピーチコンテストも開催している。コンテストでは司会、タイムキーパー、受付を生徒が自主的に務めるといふ。

国際系以外の類系でもそれぞれの特徴を生かした、生徒主体の学習の場を用意している。

「昨年度から音楽系では、日ごろの学習の成果を聴いていただいたり、音楽をより身近に楽しんでいたところ、特別養護老人ホームや幼稚園などを訪問して音楽会を実施しています。また

理数系、人文系では実験や研究発表の機会を設けたり、美術関連の大学をめざす少数の生徒のためにも講座を開講したりしています」

自由な校風に 高い評価

2年次からの類系の選択は、あくまで生徒の希望。1年次の6月に系選択の予備調査を行い、ガイダンスを実施することの特徴的な科目などについて説明する。

『オープンスクール・デー』や中学校での学校説明会、中学校の教師を対象とした進学説明会などで各系の説明をしています。そんなこともあって、本校の特色はかなり県内の中学生に浸透していると思います」

難関大に多くの合格者を出している同校だが、大田原校長は「大学入学後の学習までも見通した教育をめざしている」と語る。

「だから勉強だけでなく、たくさん行事を体験させたいのです。そしてその中で自分の力で伸びてほしい。実は生徒たちの本校への志望動機のうち『大学進学率がいいから』は一番目なんです。一番は『自由で明るいこと』。これは本校の取り組みが、関係方面によく知られている証だと思えます」



岡山県立岡山城東高校校長
大田原啓介 Ohkawara Keisuke

備作高校校長を経て、平成9年度より現職。担当教科は英語。岡山城東高校は他校に比べて行事が多いので、生徒も教師もかなりの努力が必要だ、と感じている。「目的意識が高い生徒が多いと思います。学校の雰囲気も自由で明るいので、生徒もいろんなことに積極的に取り組めるのでしょ